

# 技術テスト

## 概要

- 特定の画像ファイルへのPathを与えると、AIで分析し、その画像が所属するClassを返却するAPIがあるとします
  - このAPIに対してリクエストを投げ、レスポンスをDBに保存する処理を作成してください
  - ただし、実際に動作するAPIは存在しないため、APIの仕様からレスポンスを想定し、保存処理を作成してください
- ※ 必要であればmock-upを作成し、そのmock-upも一緒に提出してください

## 条件

- PHP、Python、JavaScriptの内、いずれかのフレームワークを利用してください
- UIの作成は任意とします

## レスポンスを保存するDB

※ 以下はMySQLのCREATE文になります。ご利用のRDBに合わせて変更してください。

```
1 CREATE TABLE `ai_analysis_log` (  
2   `id` int(11) NOT NULL AUTO_INCREMENT,  
3   `image_path` varchar(255) DEFAULT NULL,  
4   `success` varchar(255) DEFAULT NULL,  
5   `message` varchar(255) DEFAULT NULL,  
6   `class` int(11) DEFAULT NULL,  
7   `confidence` decimal(5,4) DEFAULT NULL,  
8   `request_timestamp` int(10) unsigned DEFAULT NULL,  
9   `response_timestamp` int(10) unsigned DEFAULT NULL,  
10  PRIMARY KEY (`id`),  
11 ) ENGINE=InnoDB DEFAULT CHARSET=utf8;
```

## API仕様

### リクエスト

- URLベース：<http://example.com/>
- リクエスト：POST
- パラメーター
  - image\_path
    - String
    - 画像ファイルPath
    - 例) /image/d03f1d36ca69348c51aa/c413eac329e1c0d03/test.jpg

## レスポンス

レスポンスはjsonで返却されます。

### Success : リクエスト成功

```
1  {
2    "success": true,
3    "message": "success",
4    "estimated_data": {
5      "class": 3,
6      "confidence": 0.8683
7    }
8  }
```

### Failure : リクエスト失敗

```
1  {
2    "success": false,
3    "message": "Error:E50012",
4    "estimated_data": {}
5  }
```